

【声明】 安保法制の廃止を！ 安倍政権と自公勢力に打ち勝つ大きな動きを！

2015年9月19日
緑の党グリーンズジャパン運営委員会

本日未明、安保関連法案は、多くの野党、圧倒的多数の学者や法律関係者、全国の市民の反対の声を無視して採決が強行され、与党などの賛成多数により参議院本会議で成立しました。すでに指摘しているように、強引な内閣法制局人事と集団的自衛権行使容認の閣議決定、安保法制の根拠や目的と内容、そしてその成立過程に至るまで、憲法との整合性や公正さは完全に欠如しています。これは、安倍政権による憲法と民主主義に対する文字通りの「クーデタ」であり、一連の暴挙に強く抗議します。

また、この数日間、政権・警察当局は、国会周辺に集まる多くの市民の声を恐れて嚴重な警備体制を敷き、市民を不当に逮捕しました。国会の強権的な運営を守るために行なわれた過剰警備と不当弾圧に、併せて抗議します。

これまでも表明しているように、この法制が成立しても、私たちは声を上げ行動し続けます。すでに首長や弁護士、自治体議員らによる違憲訴訟も準備されています。この法制を発動させず、近い将来、必ず廃止に追い込み、日本の戦後社会の最大の危機をもたらしている安倍政権を退陣させなければなりません。

来年夏には参議院選挙も迫っています。この参院選で、憲法と民主主義を蹂躪する安倍政権と自公勢力に打ち勝つために、既存の枠組みやこれまでの経緯を超えた、新しい取り組みが必要です。これは、私たちだけでなく、安保法制と「安倍政治」に反対している無数の多くの市民の共通の願いであり、希望です。心ある政党・政治勢力が、そうした市民の願いに向き合い、全国各地で横向きにつながって形成された新たなネットワークをさらに広げ、市民とともに、新しい枠組みのための模索と努力を重ね、次の行動と希望につなげることを、そして私たち自身もその中で力を尽くすことを、内外に呼びかけます。

私たちは、不当なやり方で法案の成立を強行させた安倍政権と与党に対し重ねて抗議するとともに、本日まで行動を重ね、安保法制に反対する大きな世論を巻き起こしてきた全ての組織やグループ、そして何よりも日本全国のひとりひとりの市民の皆さんに心からの敬意を表し、今後の新しい行動に向け、さらに力を注ぐ決意と連帯の意思を表明します。